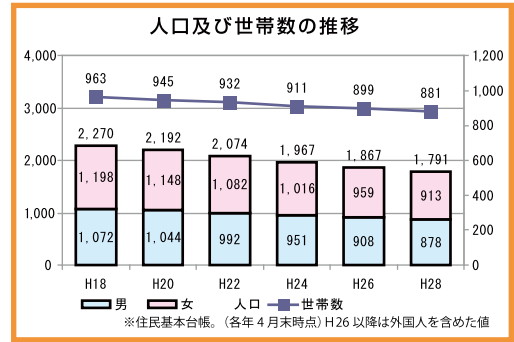
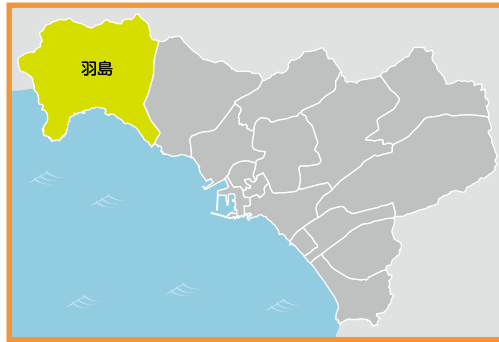


羽島地区

『元気・勇気・挑戦・協調・親切』



計画期間：平成24年度～平成28年度

現況と課題

◆市街地から北西約9kmに位置し、漁業と農業が同居する生活形態で、歴史や史跡を数多く有する地区です。◆薩摩藩英国留学生が慶応元年に英国に向け出航した「黎明の地」として、近年、薩摩藩英国留学生記念館が整備され、観光振興で果たす役割が増していると思われます。◆海・山の自然に恵まれており、風光明媚な景色を生かした観光振興が求められています。今後は、海岸線の観光道路化や記念館と他の資源を組み合わせた観光資源化等の取組が必要と考えています。◆空き家の対策については、これまで地区で持ち主との交渉や家財の撤去を行い住んでもらうなど空き家の活用に取り組んでいます。今後は、観光資源としての利活用や特に子育て世帯の定住対策への活用が必要と考えています。しかし、改装が必要な空き家も多く費用面が大きな課題となっています。◆独居の高齢者が増えているため、地区としての支援の在り方について検討が必要と感じています。また一部の公民館で盛んな高齢者の交流活動を、他の公民館へも広げて行く必要があります。◆お店の休日が重なるため、スーパーがもう一軒ほしいという意見があります。買い物弱者対策として、地区で使用できるバスを利用した買い物ツアーなど検討したいと思っています。◆今後は、まちづくり協議会で自主財源を生み出す取組が必要と考えています。そのためには、まちづくり協議会と行政の情報共有の強化が求められています。

基本的方向

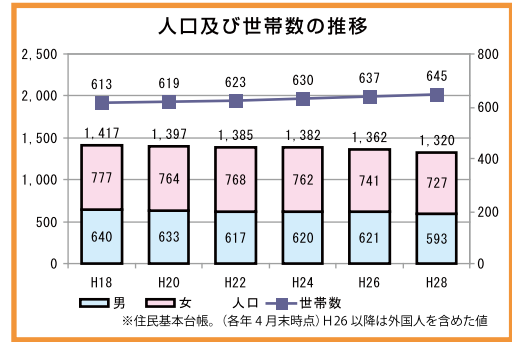
- I. 協議会の中核となり地域の安全を守り、防災・防犯に努める
- II. 女性の立場から各部の行事、子育て・高齢者の支援を行う
- III. 元気な子どもたちを健全に育む
- IV. 地域を盛り上げてまちを元気にしていく
- V. すべての人たちが健康で楽しく過ごせるようにする
- VI. 地域の観光PRやイベントを開催し、伝統・文化を継承していく
- VII. 事業計画に基づいた事業の推進にあたる

主要施策

- I. 自治活動の広報を行い情報の提供、避難訓練の実施、自主防災組織の策定、防災マップの作成、環境美化、草刈活動、火災報知機の設置、交通安全街頭指導、公民館未加入者加入促進、生活道路等の整備
- II. 各行事・イベントの支援、育成バレーボール大会の企画・実施、乳幼児・子育て支援、ともしびグループ高齢者訪問
- III. わくわくネイチャーキャンプの実施、元旦の弁財天登頂
- IV. れいめいウォークの実施、羽島地区駅伝大会の実施
- V. ウォーキングコースの整備、福祉グラウンドゴルフ大会、いきいきサロンの推進、児童等の交流、支え合いのネットワーク、敬老の祝日
- VI. 羽島を知る講座実施、体験プログラム（ピザ窯の設置）、羽島の文化資源の掘起こし（探査）、まち歩きコース設定及びマップの作成、まち歩き交流拠点の創出活動、観光ガイド育成（募集・講座）、観光看板設置、ゴンザ資料館づくり
- VII. ホームページの開設、古民家を利用した食事処、郷土料理の食品加工場、生活支援ネットワーク、特産物を配布する物産館、観光客を泊める宿、休耕田を利用した農地活用

川南地区

『地区民全員で支えあって暮らしやすい環境を整え、川南らしい豊かな自然と人情を後世へつなぐ。』



計画期間：平成27年度～平成31年度

現況と課題

◆市の南に位置し、市来地域の市街地と接し、国道が通り、住宅地、農地や工場もある地区です。また400年間続く七夕踊りなどの伝統文化や行事を工夫しながら大切に継承しています。◆世帯数は増加傾向にありますが、人口は減少傾向にあり、高齢者の割合も増えてきています。◆本地区では公民館単位の活動を主としながら、旧公民館内の大多数が急速に高齢化しているため「いきいき健康な地域づくり」と身近な大里川や海に面しており、津波等災害を考える中で「防災意識を高めて常に災害に備える地域づくり」を地区全体として取り組むべき柱としています。◆農業振興については圃場整備への関心が高く、市から状況報告をいただき情報共有に努めています。整備後は、農地集約、集落営農、後継者対策、耕作放棄地の解決など、より良くなると考えています。◆公民館の維持が難しくなると考えられ、今後は公民館の合併といった検討も必要と感じています。◆今後まちづくりを推進するためには、まちづくり協議会与行政の業務の分担や連携の在り方についても検討が必要であると感じています。

基本的方向

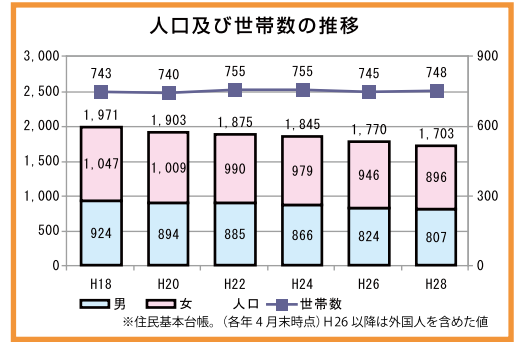
- I. 健康と福祉に関する事業
- II. 住民相互の情報交換及び交流・親睦に関する事業
- III. 環境美化・保全に関する事業
- IV. 青少年健全育成に関する事業
- V. 防災・防犯、交通安全に関する事業
- VI. 伝統文化継承・教養の向上に関する事業
- VII. その他に関する事業

主要施策

- I. 高齢者を対象としたお茶会の開催、地区探索ウォーキングの開催、地区グラウンドゴルフ大会の開催、健康増進活動やスポーツ大会の参加、特定健診受診の声かけ、市来ウォーキング大会、地域ネットワーク川南、在宅福祉アドバイザー活動、公民館における敬老活動
- II. 地区だよりの定期発行、防災行政無線による地区行事等の周知、川南交流センターの機能充実、地区事務員の雇用
- III. マナーアップモデルコース（仮称）を選定し不法投棄しにくい環境を作る、遊休農地や管理されていない住居地の把握・利活用、市来海岸クリーンアップ作戦、青少年ふるさと美化活動、用水路草払い、道路愛護活動、河川愛護活動、生活学校活動
- IV. 川南地区のスローガンを子ども会で考える、ウミガメパトロールへの参加、登下校時等のあいさつ、声かけ、小中学校解放時の参加、屋外活動の応援等、子どもたちが安心して遊べる場所の整備、子ども会地引網、学生保護者会夜間巡回活動、七夕踊り短冊作り、夏休みラジオ体操
- V. 各種災害を想定した避難訓練の実施、道路、側溝、道路脇支障木等の見回り及び整備、交通危険個所の点検、要配慮者の支援活動、川南分団による地域巡回、応急手当講習会の実施、登下校時の交通安全見守り
- VI. 川南史跡マップの作成、公民館単位の郷土史作成、史跡等の周辺環境整備、七夕踊りの継承（短冊作り）、祇園祭への参加、御霊神社6月灯
- VII. 消防出初式（慰労会）

川北地区

『絆、きばっと川北、先人に学び未来を拓く』



計画期間：平成25年度～平成29年度

現況と課題

◆市の南に位置し、地区内を国道3号線が走り、県営住宅、果樹園も有するなど色々な特色を持つ地区です。また、400年間続く七夕踊りを継承する歴史・文化のある地区でもあります。◆平成18年以降世帯数は横ばいですが、人口は減少傾向となっています。◆モデル地区として始めた「ふるさと塾」は、3泊4日寝食を共にしながら、子ども達も食事作りの手伝いや学習会を通して成長が見られ、コミュニケーションも取りやすくなりました。子ども達にも好評を得ており今後も継続して実施したいと考えています。◆近年、地区内に海外からの研修生が住むようになり、カラオケ大会への参加を呼び掛けるなど、今後はさらに地域との交流を深める取組も重要と思います。◆人口が減少し、行事への参加者が少なくなり、また、公民館役員も高齢化しているため活動に支障が出ている公民館もあります。◆若者が少なくなり七夕踊りなどの文化の継承も難しくなっているため、住民の理解を得ながら色々な取組を進めていく必要があります。◆高齢化・後継者不足で耕作放棄地が増えており、特に果樹園等の継承が図られるよう関係機関と連携し取り組む必要があります。◆地区内のまち歩きを開催するなど、子どもから高齢者まで地区民の親睦を深める取組の充実に努めています。

基本的方向

- I. 住んでよし、訪れてよし環境の整ったまちづくり
- II. 豊かな心をはぐくむ学びの場を通じて楽しく交流するまちづくり
- III. 健康増進・福祉の向上をはかり、心かようふれあいのあるまちづくり
- IV. 防災・防犯対策の充実した安心・安全なまちづくり
- V. 故郷を愛し、伝統文化を継承発展させるまちづくり

主要施策

- I. 花いっぱい運動、通学路の点検運動、不法投棄の防止、地域再生事業（耕作放棄地の活用、特産品の開発）
- II. カラオケ大会、講演会、文化祭、作品展の企画・実施、市の出前講座（郷土史）、人材バンクの整備、生涯学習への参加、「きばっと川北」号の発行、「合同子ども会」「ふるさと塾」の開催、一日一円貯金
- III. 受診率の点検活動、健康講座、食生活改善教室・講話と調理、親善スポーツ大会の実施
- IV. 危険箇所点検・マップ化、防犯に関する標語入りの安全看板の設置、見守り・見回りのためのマップ作り、防災訓練の実施（火災・救急救命処置）
- V. 七夕踊り、虫追い踊りの継承、郷土史・郷土マップを作ろう、集落名の由来を調べよう、まちあるき隊の結成、鹿児島大学との交流